



## 学部長ごあいさつ

保健医療学部長 片寄 正樹

新年度が始まり、学内は新たな活気に満ちています。新入生は新しい生活に慣れ始め、上級生もそれぞれの目標に向けた学びを本格化させています。附属病院での臨床実習や地域と連携した演習など、本学部ならではの実践的な教育環境を通じ、学生たちは専門性を磨くとともに、医療専門職としての自覚と責任感を着実に育てています。

季節の変わり目を迎え、寒暖差による体調管理にも配慮しながら、学生が安心して学修に専念できる環境整備に引き続き努めてまいります。

さて、今春の看護師・保健師・助産師・理学療法士・作業療法士の国家試験において、本学部は新卒者合格率100%を達成いたしました。教務委員会を中心とした丁寧な学生指導と組織的な教育改善の積み重ねが、今回の大きな成果につながりました。教職員一同、大変心強く受け止めております。

札幌医科大学は昨年、創基80周年・開学75周年の節目を迎え、多彩な記念事業が開催されました。キャンパス中央の「ラテス」には記念の時計塔が建立され、大学棟と附属病院を行き交う学生や教職員を見守る新たなランドマークとして、本学の歴史と未来を象徴する存在となっています。

さらに本年は、本学部の前身である衛生短期大学部および保健医療学部の同窓会が設立40周年を迎え、8月には記念式典を開催いたします。式典では、北海道を拠点に活躍されたサッカー元日本代表の小野伸二氏をお招きし、スポーツと健康、そしてキャリアを通じた学びについてご講演いただく予定です。これまでの40年間で衛生短期大学部卒業生894名。保健医療学部卒業生約2,801名の卒業生が、医療・福祉・研究・行政・産業の各分野で活躍しており、その存在は本学部にとってかけがえのない財産です。今後もこの強固なネットワークとの連携を深め、次世代を担う保健医療職の養成と学術の発展に尽力してまいります。

結びに、保護者・ご家族の皆さまには、日頃より多大なるご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 【令和8年度 学事予定】(1~4学年)

4月 2日	新入生オリエンテーション
4月 3日	入学式
4月 6日	前期講義開始
6月 11日 ~ 6月 14日	大学祭
6月 25日	大学記念日
7月 21日 ~ 7月 24日	前期定期試験 (4年生 看護)
8月 3日 ~ 8月 28日	夏季休業 (1・2・3年生、4年理学)
8月 10日 ~ 8月 21日	'' (4年生 看護)
8月 21日 ~ 8月 31日	'' (4年生 作業)
8月 31日 ~ 9月 11日	前期定期試験 (1・2・3年生)
9月 28日	後期講義開始
10月 8日 ~ 10月 10日	体育祭
12月 4日	文化芸術祭
12月 21日 ~ 1月 1日	冬季休業
1月 18日 ~ 1月 22日	後期定期試験 (3年生 理学)
2月 17日 ~ 3月 4日	後期定期試験 (1・2年生、3年生作業)
3月 19日	卒業式



入学式



新入生オリエンテーション

## 学科長及び教務委員長ごあいさつ

### 看護学科長 今野 美紀



例年より早い桜の開花と共に、新年度が始まりました。学科長を務めます今野です。どうぞよろしくお願いいたします。

昨今の国際的な緊張は医療現場への物資供給や物価に影を落とし、国内でも地震への備えが改めて問われるなど、不透明な情勢が続いています。現在放送中の連続テレビ小説『風、薫る』には、逆風の中でも看護の道を志し、凜として歩む主人公の姿が描かれています。その姿は、まさに変化の激しい現代を生きる学生と重なります。

本学では教育のDX化を推進し、学生はデジタル技術を自在に操り、学びを深めています。しかし、扱う医療データの先には、尊い生命と人生を持つ「人」がいます。それゆえ本学科では、あらゆる技術の習得と並行し、医療人としての高い倫理的感受性を育む教育を重視しています。自ら課題を発見し、人々の生命と健康を守る「コンピテンシー（実践的能力）」を基盤とした教育を、今後も

推進してまいります。

学生一人ひとりが将来、看護の実践者・教育者・研究者としての礎を築けるよう、全力で支援してまいります。学生がこの困難な時代を力強く生き抜き、社会に貢献する専門職として羽ばたけるよう、今後ともご家族の皆様の温かなご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 理学療法学科長 菅原 和広



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、保護者の皆様におかれましても、これまでの温かなご支援に心より敬意を表し、お祝い申し上げます。

札幌医科大学保健医療学部理学療法学科では、専門職として必要な知識と技術に加え、人を支える姿勢と主体的に学び続ける力を育む教育を大切にしています。

近年、大学教育の環境は大きく変化しており、授業資料の配信、履修や実習に関する連絡、各種アナウンスなどのデジタル化が進んでいます。学生には、必要な情報を自ら確認し、学修を主体的に管理する力が求められます。こうしたDX化は、将来の医療現場で不可欠となる情報活用力を養う機会でもあります。

また、人口減少や高齢化の進展により、理学療法士に期待される役割は医療・介護の枠を越え、予防、地域支援、産業保健、研究、国際活動などへ広がっています。これからは、一人ひとりが自らの強みを見いだし、新しい理学療法士像とキャリアを築いていく時代です。私たち教員も心新たに、学生が安心して挑戦し、仲間とともに成長できる学修環境を整え、学科全体で支えてまいります。

### 作業療法学科長 中村 真理子



ご入学・ご進級おめでとうございます。4月1日に作業療法学科長を拝命しました中村です。

新年度、新入生を迎え、教員一同大変うれしく思っております。本学で学ぶ4年間で、専門知識を深め、多様な価値観に触れ、視野を広げてほしいと思います。また、大学は「学びの場」であると同時に「人と出会う場」でもあります。友人、先輩、教職員との交流を通して築かれる、互いに刺激し合い支えあう関係は、将来にわたって大切な財産となるはずで、これから始まる大学生活が、実り多く、充実したものとなるよう、支援してまいります。

新年度を迎え、在学生においては、講義や演習、臨床実習を通して専門性を一層深める時期となり、学びの内容もより実践的なものへと進んでまいります。また、新入生は新しい環境の中で基礎から学びを積み重ね、作業療法士に向かって第一歩を踏み出しました。本学科では、臨床現場で信頼される、研究マインドを持った作業療法士の育成を目指し、医学的な知識に基づき障害を分析し、幅広い知識と実践力を身につけるためのカリキュラムが構成されており、専門的知識や技術の修得に加え、「その人らしい生活」を支える視点を大切に教育を行っております。

保護者の皆様におかれましては、今後とも本学科の教育活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 教務委員長（作業療法学科 教授）太田 久晶



平素より本学部の教育活動に格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。この4月より教務委員長を拝命いたしました作業療法学科の太田久晶と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本学では昨年10月にDX推進室を設置し、教育を含む大学業務のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進しております。これに伴い、今年度から学習管理システム Google Classroom を導入し、講義資料の配布や課題回収、小テストの実施を効率化しました。また、容量無制限のクラウドストレージ「BOX」の利用により、学生はネット環境があれば場所を問わずデータにアクセス可能となりました。

また、臨床実習の記録に関しては、作業療法学科が先行してクラウド型の実習支援システムを導入し、学生・指導者・教員間の情報共有を円滑化しています。現在は看護学科、理学療法学科でも実習記録のDX化について検討中です。

今後さらなる教育DXを推進するところですが、学修効果については適宜確認し、必要に応じて内容の見直しを図ることで、教育の質を担保したいと考えております。

最後に、本通信でございますが、DX化の一環として、次号をもって紙媒体での配布を終了し、その後は大学ホームページでの掲載のみとさせていただきます。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

## 各学科の演習・実習について

## 看護学科：看護技術演習

看護学科では、看護職として質の高い看護実践能力を養うために、専門的な知識と技術を融合させた演習を行っています。保健師助産師看護師法において、看護師の役割は、「療養上の世話」と「診療の補助」が定められています。そのため、看護職には治療に伴う援助から日常生活の支援まで多様な看護技術を対象者に提供する役割が求められています。

1・2 学年では、基礎看護方法 1・2・3 の科目を中心に、看護師の役割に応じたさまざまな看護技術演習を行っています。看護師が確かな技術を習得する最大の目的は、患者さんやそのご家族に寄り添い、最善のケアを提供するための「実践力」を養うことにあります。演習では、看護技術を習得すると同時に、患者体験を通してケアの受け手の立場から、より安全で安楽な看護実践について考察します。多様な演習を通して、将来の医療現場で必要とされる看護技術と、専門職としての姿勢を身につけます。

また、看護学科における看護技術演習では、専門的な知識に基づき、その理由や根拠（エビデンス）を明確にしながら学ぶことに重点を置いています。学生は、「なぜこの手順が必要なのか」「どのような根拠にもとづいているか」を深く理解した上で技術を習得することが求められます。演習に参加する準備としての事前学習、演習終了後に自己の実践を振り返る事後学習を積み重ね、教員が学生 1 人 1 人の学びに寄り添ってフィードバックをすることで根拠に基づく確かな看護技術を習得できるように関わっています。



## 理学療法学科：臨床実習 3

理学療法学科では、3 年次後期の科目として「臨床実習 3」を実施しています。リハビリテーション部門における系統的な臨床教育は、高度専門化・多様化するニーズに対応し、社会の要請に応えうる人間性豊かな臨床能力を培うために欠かせない領域です。

本学科の臨床実習の大きな特徴は、運動器障害・神経障害・内部障害の主要 3 領域に加え、高齢者・小児発達の 2 領域を学生全員が経験するという、全国でも類を見ない包括的なプログラムにあります。現代社会では地域包括ケアシステムの推進や予防医学の重要性が高まっており、理学療法士には病院内でのリハビリテーションに留まらず、生活の場でいかに健康を維持・増進させるかという広い視点が求められています。4 年次の最終実習「臨床実習 4」を前に、高齢者の通所・訪問リハビリテーションを経験することは、機能回復の視点だけでなく、その後の生活までを視野に入れたリハビリテーションの提案を養う極めて重要な機会となります。

また、小児領域においても、時間の経過や家族背景を含めた包括的な視点を持つことは、臨床教育において非常に重要です。

これらの実習を通じ、個人の機能的な要素（筋力低下や活動性の低下など）に加えて、環境要因（介護者の負担）や個人要因（ご本人の性格や希望）も含めて、ひとりの対象者を総合的に捉える力を涵養しています。4 年次の実習ではさらなる専門性を追求しますが、その根底には常に生活を見据えた包括的な視点が必要です。

機能への介入と包括的なサポートの両立こそが理学療法士の強みであり、本学ではそのような思考を備え、社会の期待に応えうる人材の育成を目指しています。



## 作業療法学科：総合臨床実習 1～3 ～4 年生の臨床実習が始まりました～

本学科 4 年生は 4 月から 9 月末までの半年間、学外での「総合臨床実習」に臨みます。この実習では、対象者様の病気や障害だけでなく、その方が秘めている身体的・精神的な可能性や「これからどのような生活を送りたいか」という想いに耳を傾け、それを支えるために何が必要かを多角的に学んでいきます。実習先は附属病院をはじめ札幌市内外にわたるため、それぞれの地域の特性に合わせた作業療法のあり方についても理解を深めます。初めての長期実習に、学生たちは大きな不安や緊張を抱えてスタートしましたが、全ての実習を終えて専門職へと一歩近づいた姿を見せてくれることを、教員一同心から楽しみにしています。

臨床実習について、今年度からは、学生・実習指導者・教員の 3 者をオンラインで結ぶ「実習管理システム」を本格導入しました。実習では、対象者様を作業療法的な視点から分析・記録し、報告するという大きな学習課題がありますが、時には思うように進められず、一人で悩んでしまう学生もいます。

これまでは紙面や口頭でのやり取りが主であったため、教員が詳細を把握するまでにタイムラグが生じることもあり、実習巡回などを通じた対応が中心でした。しかし、新システムを活用することで現場の状況をリアルタイムに把握し、学生に対してよりタイムリーかつ的確な指導・支援を行える体制を整えてまいります。

学生が現場で出会う様々な臨床場面は、決して教科書通りではありません。その経験を糧に試行錯誤を繰り返すプロセスこそが、対象者様から心から頼りにされる作業療法士になるために不可欠な経験であると考えております。半年間にわたる研鑽が、学生たちにとって実りあるものになることを切に願っています。



## 保健医療学部学生表彰

### ★増田 珠優（看護学科・最優秀賞）

この度は名誉ある賞をいただき、大変光栄に思います。このような賞を頂けたのは、日々学生に寄り添いご指導くださる先生方、共に励まし合い切磋琢磨する仲間、支えてくれる家族のおかげだと感じています。心より感謝申し上げます。今後はより専門的な学習へと進み、実践の場での経験も増えていくため、より主体的に取り組んでいきたいと思ひます。また、支えてくださる周囲の方々への感謝の気持ちを忘れずに自己成長に努めていきます。

### ★山口 菜々美（看護学科・優秀賞）

この度はこのような名誉ある賞に選出いただき、大変嬉しく、光栄に思います。私が今まで励んでこられたのは優しく丁寧に指導して下さる先生方、共に切磋琢磨してきた友人たちの存在があったからこそであり、心から感謝申し上げます。今後はより一層将来に向けて専門性を高め、地域社会に貢献できる医療従事者となれるよう精進して参ります。この度は誠にありがとうございました。

### ★加藤 汐織（理学療法学科・最優秀賞）

この度はこのような名誉ある賞をいただき、大変光栄に思います。このような賞をいただくことができたのは、日頃から熱心にご指導して下さる先生方や、支えてくれる家族や友人のおかげでもあります。心より感謝申し上げます。これからも支えてくださる周囲の方々や恵まれた学習環境への感謝の気持ちを忘れず、今回の受賞を励みに、より一層精進して参りたいと思ひます。

### ★石田 桜奈（理学療法学科・優秀賞）

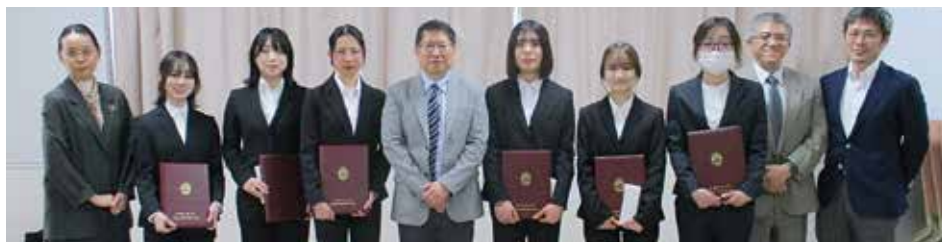
この度はこのような名誉ある賞を賜り、大変光栄に存じます。日々ご指導くださった先生方をはじめ、いつも支えてくれた家族や、励まし合いながら共に学んできた友人たちのおかげでこのような賞をいただくことができました。心より感謝申し上げます。今後もこの受賞を励みに、周囲の方々や恵まれた環境への感謝を忘れることなく、より一層精進して参ります。この度は誠にありがとうございました。

### ★松川 晶子（作業療法学科・最優秀賞）

この度は名誉ある賞を賜りありがとうございます。育児中の社会人という立場で苦心することもある2年間でしたが、日々の努力がこのような結果につながったことを大変嬉しく光栄に思います。これも偏にご指導くださる先生方、一緒に学ぶ同期、既卒者対応のため種々お手続きくださった事務局の皆様、見守ってくれる家族など沢山の人の支えていただいたおかげです。恵まれた環境で学べることに感謝し、卒業まで一層励んでまいります。

### ★浜崎 佐和子（作業療法学科・優秀賞）

この度はこのような名誉ある賞をいただき、大変光栄に思います。この賞を頂けたのは決して自分1人の力だけではなく、日頃から支えてくださる先生方、一緒に勉強してくれる友人や絶えず支援しえくれる家族の力があってこそだと思ひます。今後も日々学習に励み、患者さんに寄り添う事ができる作業療法士になれるよう日々精進して参りたいと思ひます。この度は誠にありがとうございました。



### 令和7年度卒業生の国家試験合格状況

学科名	受験者	合格率(新卒)	全国合格率(新卒)
看護学科	50名	100%	94.10%
理学療法学科	20名	100%	94.90%
作業療法学科	20名	100%	96.60%



### 令和7年度卒業生の進路状況



学科名	医療施設		進学		
	(うち札幌医科大学 附属病院)	札幌医科大学附属病院 PT・OT研修センター	大学院	専攻科	その他
看護学科	37名(28名)		2名	10名	1名
理学療法学科	12名(0名)	3名	5名		—
作業療法学科	20名(1名)	—	—		—